

ケアでひらくミュージアム

「みる きく はなす～対話・多言語で広がるアート～」

2025 年 7 月 21 日(月・祝)



1

映画「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」より ©ALPS PICTURES

見えない人と見える人が、一緒にアートを見る。その先にある世界とは？

本イベントは、ケアの視点から博物館をひらき、あらゆる立場の方に文化芸術を身近に感じていただくための試みとして実施します。当日は常設展と夏季特別展を無料で観覧できます。また、ドキュメンタリー映画の上映会や多言語での絵本の読み聞かせ会、対話型の美術鑑賞など、一日を通して楽しめるプログラムを予定しています。みて、きいて、はなすことで、ひろがる新しい世界を体験してみませんか。

イベント名	ケアでひらくミュージアム 「みる きく はなす～対話・多言語で広がるアート～」 ※ひょうごプレミアム芸術デー参画事業
日 時	2025年7月21日（月・祝）
開 館 時 間	9：30－18：30（入館は18：00まで）
会 場	明石市立文化博物館
観 覧 料	無料（この日は、常設展・夏季特別展とも観覧無料）
主 催	明石市立文化博物館
共 催	公益財団法人明石文化国際創生財団

■■お問合せ先■■ 明石市立文化博物館 企画事業課

〒673-0846 兵庫県明石市上ノ丸2丁目13番1号

TEL:078-918-5400 FAX:078-918-5409

Email: press@akashibunpaku.com

7 月 21 日(月・祝)は、常設展と夏季特別展が観覧無料

○ 常 設 展 明石の歴史と文化を「自然環境と人々の暮らし」と題して「明石のあけぼの」「大昔の明石」「幾内への入り口・明石」「明石の焼き物」「明石の農業」「明石の漁業」「明石城と城下町」「のびゆく明石」の八つのテーマで紹介しています。

○夏季特別展「そうぞうのかけら－砂で紡ぐたなかしんの物語」

会期：2025 年 7 月 19 日(土)～9 月 7 日(日) ※会期中無休

開館時間：9：30～18：30（入館は 18：00 まで）

明石の海の砂を使い、やさしく幻想的な作品を生み出す画家・絵本作家 たなかしん。

絵本作家活動 20 周年を記念し、初期から最新作までの作品を一堂に会した展覧会を開催します。読み聞かせ映像やインタラクティブ作品、触れて楽しめる作品、参加型作品などもあり、おとなもこどもも楽しめる展覧会です。



2

ぶんぱく玄関前広場が飲食スペースに！

この日は、キッチンカーや介護事業所による出店があり、博物館玄関前広場が飲食スペースになります。自家焙煎珈琲、手作り焼き菓子、バタークレープやベトナム風お好み焼きなどがお楽しみいただけます。展覧会鑑賞やイベント参加の前後に、こちらでゆっくりおくつろぎください。



3

過去当館無料開館イベント時の様子



Kackey's coffee



北海道バタークレープ



スピンケア 24 つむぎ

【当日プログラム】

※参加費無料（「白鳥さんと一緒に鑑賞会」は有料）

※イベントには、手話通訳・要約筆記の派遣ができます。ご希望の方は、7月8日（火）までにご連絡ください。

■ボランティアによる常設展示解説／さをり織体験

常設展示室をボランティアがわかりやすく解説します。この機会に明石の歴史文化に触れてみませんか？1階ロビーでは、さをり織をお気軽に体験していただけます。（作品は、お持ち帰りいただけません。）

時間：10：00～12：00

対象：どなたでも

申込不要



4 常設展示解説の様子



5 さをり織体験の様子

■たなかしんさんの絵本を3つの言語できいてみよう！

韓国と台湾で出版されたたなかしんさんの絵本を日本語とともにそれぞれの言語できいてみよう！

明石在住の韓国・台湾出身の方と絵本ソムリエのサンプルパパさんによる読み聞かせです。音の響きの違いをお楽しみください。

時間：10：30～（30分程度）

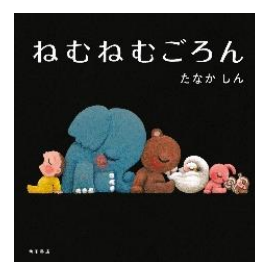
会場：2階ギャラリー

対象：どなたでも

申込不要



6 『りすのおふろやさん』



7 『ねむねむごろん』

■上映会『目の見えない白鳥さん、アートを見にいく』（日本語字幕版）※要事前申込（先着）



恋人とのデートがきっかけで初めて美術館を訪れた全盲の白鳥建二さん。その日「全盲でもアートを見ることはできるのかもしれない」と感じた。それからあちこちの美術館を訪れ、いつの間にか「自由な会話を使ったアート鑑賞」という独自の鑑賞法を編み出した。本作は、そんな「全盲の美術鑑賞者」、友人たち、美術館で働く人々、新たに白鳥さん出会った人々が紡ぎ出す豊かで自由な会話を追ったドキュメンタリーである。

水戸から東京、新潟、そして福島へ。アート作品をめぐりながら、白鳥さんは旅をする。カメラは、その旅路や見えない日常を追いかける。いつしか、一緒に見る人たち、そして白鳥さん自身も何かが少しずつ変わっていった。

時間：12：30～開場 / 13：00～ （上映時間 107 分）

会場：2 階大会議室

定員：80 名（先着）

申込受付開始：6 月 21 日(土)10：00～

※右記申込フォームよりお申込ください。



上映会申込フォーム

■白鳥さんと一緒に鑑賞会 ※要事前申込（申込者多数の場合抽選）

全盲の美術鑑賞者・白鳥建二さんをナビゲーターに、夏季特別展「そうぞうのかげらー砂で紡ぐたなかしんの物語ー」の出展作品を白鳥さんと会話しながら鑑賞します。

時間：15：30～17：30

会場：1 階特別展示室・2 階ギャラリー

対象：中学生以上

定員：5 名

参加費：1,000 円

申込期間：6 月 21 日(土)10：00～7 月 8 日(火)17：00（締切）

※右記申込フォームよりお申込ください。



鑑賞会申込フォーム

白鳥建二 全盲の美術鑑賞者、写真家

生まれつき強度の弱視で、12 歳のころには光がわかる程度になり、20 代半ばで全盲になる。そのころから人と会話しながら美術鑑賞をする独自の活動を始める。以来 20 年以上、年に何十回も日本各地の美術館を訪れている。水戸芸術館現代美術センターをはじめ、いくつもの場所で講演やワークショップのナビゲーターを務めている。好きなものは音楽とお酒。写真家としての主な出展として、2021 年はじまりの美術館（福島県）「(た) よりあい、(た) よりあう。」、2022 年アトリエみつしま企画展「まなざす身体」、2023 年さいたま国際芸術祭 2023（メインヴィジュアルも担当）など。



ケアでひらくミュージアム

「みる きく はなす～対話・多言語で広がるアート～」

FAX ご連絡先 (078) 918-5409

「画像1～7を広報用にご提供いたします。ご希望の方は、本紙にご記入の上、企画事業課まで、ご連絡ください。

番号	必要キャプション及びクレジット
1	映画「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」より @ALPS PICTURES
2	※キャプション必要なし
3	過去当館無料開館イベント時の様子
4	常設展示解説の様子
5	さをり織体験の様子
6	『りすのおふろやさん』
7	『ねむねむごろん』
8	映画「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」より @ALPS PICTURES
9	Photo by Ryuichiro Suzuki or 写真：鈴木竜一朗

貴社名		
媒体名	(新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・その他)	
ご担当者名		
ご住所	〒	
電話番号	TEL	FAX
メールアドレス	@	
URL		
掲載・放送予定日		
写真到着希望日		

- ・データの使用は、本イベントの紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。使用後は速やかにデータの消去をお願いします。
- ・原稿の確認にはお時間を頂戴しますので、ご了承ください。
- ・本イベントに関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(DVD など)をお送りくださいますようお願い申し上げます。
- ・本イベント会場の取材、撮影をご希望の場合には、事前にご連絡ください。